

平成24年度 第2回市政モニター・アンケート調査結果

■調査テーマ

「文化事業に関するアンケート」

長崎市では、自主文化事業に取り組んでおりますが、今回、「現代アート」及び「遠藤周作文学館」での文化事業のよりいっそうの充実を図るため、両事業についての調査を行い、今後の事業の検討材料として有効活用させていただきます。

(所管課：文化振興課)

■調査期間

平成24年12月7日（金）～12月19日（水）

■調査方法

対象・人数	市政モニター	209人
調査方法	書面・インターネットを通じてアンケートに回答	
回収率	調査対象	209人に対して
	有効回収数	127人 有効回収率 60.8%

■調査結果

今回の調査では、「長崎アートプロジェクト」及び「遠藤周作文学館」での事業について、まだ市民のみなさんに充分知られていないという結果になりました。

「長崎アートプロジェクト」については、「現代アート」を難しいものと捉えている方が多い一方で、「参加してみたい」という声も多くいただきました。

また、「遠藤周作文学館」についても、子どもでも楽しめるような堅苦しくない雰囲気イベントを希望するご意見や、遠藤周作氏にゆかりのあるイベントの開催を希望するご意見をいただきました。

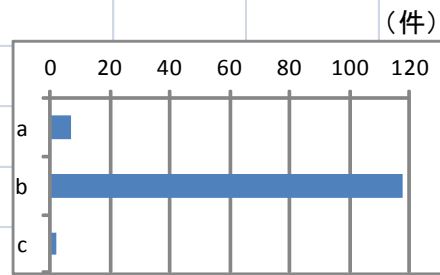
これらの調査結果を受け、今後は、現代アートや文学について特別な知識が無い方でも楽しんでいけるような取り組みとなるよう、検討していきたいと思っております。

○年齢・性別について

	男性	女性	性別無回答	合計
20歳代	3	9	0	12
30歳代	12	15	0	27
40歳代	6	15	0	21
50歳代	16	12	0	28
60歳代	14	13	0	27
70歳代以上	9	2	0	11
年齢無回答	0	0	1	1
合計	60	66	1	127

問1 2010年より旧合併地区を中心に開催しております現代美術のイベント「長崎アートプロジェクト」に参加したことがありますか。

項目	件数	割合
a.はい	7	5.5%
b.いいえ	118	92.9%
c.無回答	2	1.6%
合計	127	100.0%



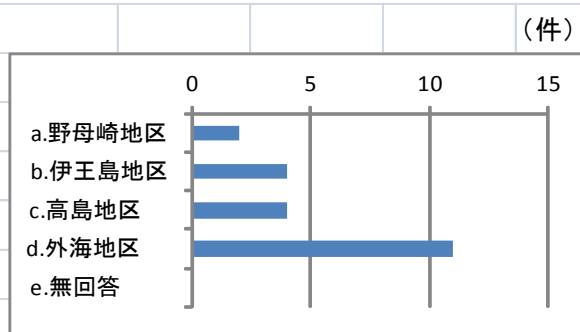
問2 問1で「はい」と答えられた方のみお答え下さい。

どの地区で開催した際に参加されましたか。また、参加されてみた感想をご自由にご記入ください。

※複数回答可

1) 参加した地区

項目	件数	割合
a.野母崎地区	2	9.5%
b.伊王島地区	4	19.0%
c.高島地区	4	19.0%
d.外海地区	11	52.4%
e.無回答	0	0.0%
合計	21	100.0%



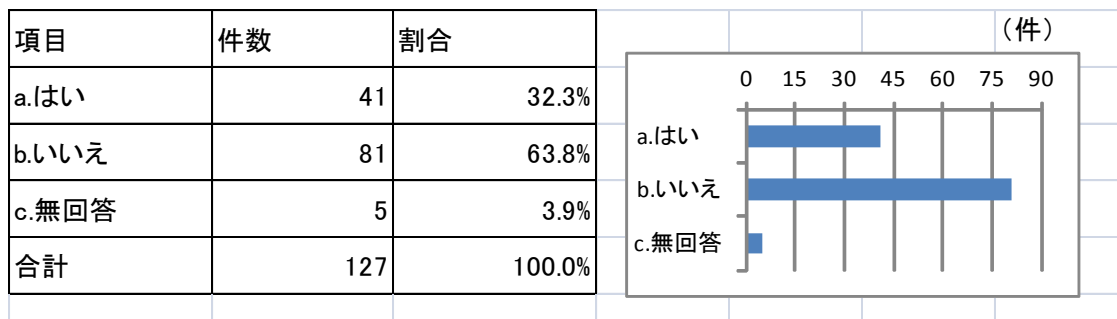
2) 参加された方の感想

- ・我々凡人には理解しがたいが、それを見て良いと思う人がいるならそれでいい。
- ・地域で活性化に取り組んでいる様子で良かった。

過去4年間は、市中心部から離れた場所での開催とのこともあり、まだ参加された事が無い方がたくさんいらっしゃる事が分かりました。今後、より多くの方に参加いただけるよう努めていきたいと感じました。

問3 今月10月開催分の「アートプロジェクト in 外海」のチラシをご覧になって、足を運んでみたいと思われましたか。また、その理由を教えてください。

1) 参加したいか否か



2) 上記の回答の理由

【理由】

○「はい」と答えた方の主なご意見

- ・ワークショップなど作家の人たちと実際触れあう機会があつて楽しそうだったので。
- ・大きな美術館での開催と違って、とても身近に感じられた。
- ・外海の美しい自然の中でアートに触れてみたいと思った。
- ・自分が知らない世界を体験してみたいと思いました。

○「いいえ」と答えられた方の主なご意見

- ・時間的に忙しくて休みがとれないので。
- ・現代美術ということで、理解できるのか…と、気後れしてしまいました。
- ・距離的に気合が必要、気軽に足が向かない
- ・あまり興味がなく、4才と2才の子供もいますが、家族でもっと参加しやすいものだと行きやすいと思う。

チラシを見て実際に行きたいと思わなかった方が過半数を占める割合になりました。主な理由として、現代アートが難しそうだからという意見が多い印象を受けました。

「長崎アートプロジェクト」では、作品の展示だけでなく、子どもや地域の方にも現代アートを体験していただく試みも交えながら開催して参りました。

今後も、みなさんがアートの楽しさを体験できるような内容で実施したいと思います。

問4 芸術の分野について、どのような催しがあったら参加してみたいと思いますか。

主な意見

【ジャンルについてのご意見】

- ・日本の古典芸能、歌舞伎とか能
- ・美術、陶芸
- ・写真展

【実施についてのご意見】

- ・郷土作家の作品が買えるイベントがあればよいなと思っています。
- ・地元の人が参加できる催し（アート作成に）。しかも“残る形のもの”
- ・一緒に体験、制作出来るブースなども増やしても良いと思う。
- ・子供が参加できるもの。
- ・長崎では見れないような、プロの芸術家の展覧会。
- ・たとえば、歌舞伎を教会でするイベント、融合させるなど…ロックコンサートを許されるなら、神社でおこなう、意外性のイベントなど、どうでしょう。

【場所についてのご意見】

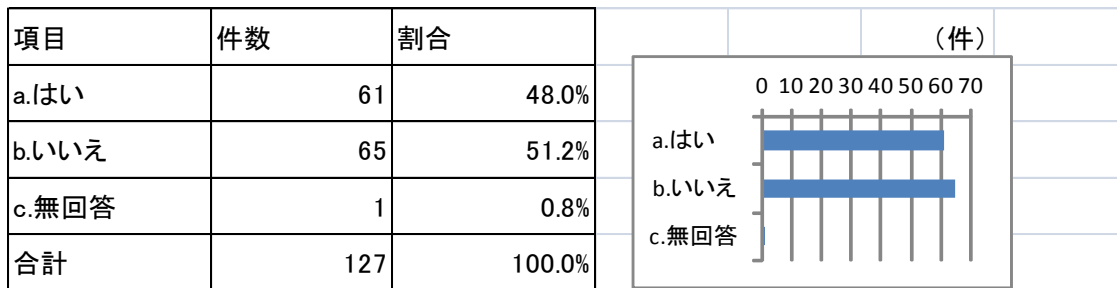
- ・まちなか美術館のような、あえて参加するというより普段の生活の中に芸術が見られるようなものがあります。展示の作品が時々、変わるとか。
- ・市街地での路上コンサート

【参加のしやすさについてのご意見】

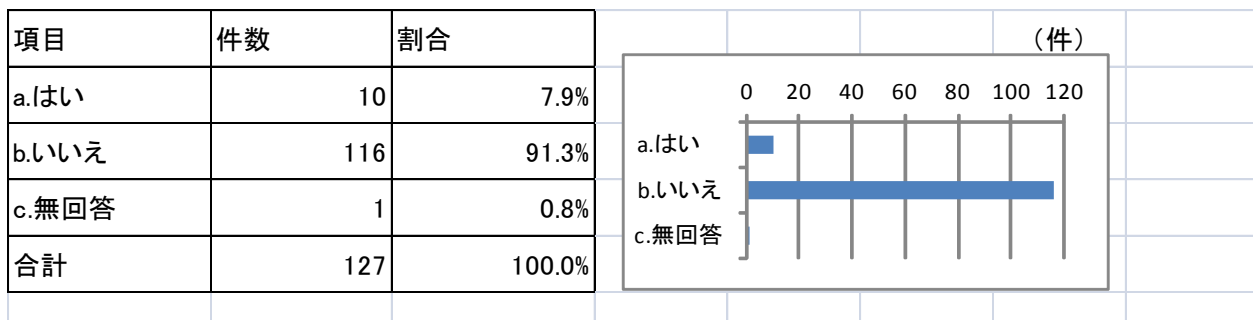
- ・老人でもチャレンジできる活動を紹介してくれる催し。
- ・気軽に行ける場所で、子供も楽しめるような催し。
- ・芸術の説明をする人がいれば、いいんじゃないでしょうか。

子どもに芸術に触れる機会をつくってほしいというご意見や、参加のしやすさを希望するご意見を多くいただきました。また、地元のアーティストの作品に触れたいという声もみられました。皆様のご意見を参考に現代アートをより身近に感じていただけるような内容にしていきたいと思います。

問5 遠藤周作文学館に行ったことがありますか。



問6 同封している「遠藤周作を偲ぶ一日」のように、遠藤周作文学館では様々な企画展を開催しておりますが、今まで参加されたご経験がありますか。



問7 今後、遠藤周作文学館でどのような催しがあったら参加してみたいと思いますか。

【他分野とのコラボレーションを希望するご意見】

- ・津軽三味線の演奏会
- ・作品の中に出てくる長崎の場所を地図に記してスタンプラリーとか。
- ・遠藤周作の小説「女の一生」などに出てくる場所のさるくツアーがあれば参加したいです。

【参加のしやすさについてのご意見】

- ・堅苦しくなく、普段着的な雰囲気での催し。例えば、朗読会（劇）。
- ・子供を主にした催しを企画してくれると参加しやすい、行きたくなると思います。どうしても足が遠のくので…参加しやすくして頂けるとうれしい。

【その他】

- ・遠藤周作氏の行動範囲を実際にたどってみたい。
- ・遠藤周作原作の映画や関連映像上映。TVで放映したものなど映画フィルムになってなく、なかなか見ることが出来ないものも含まれるとなおいいと思う。
- ・市内から遠いので、そこでしか見れなかつたりするものが良いと思います。
音楽コンサートも市内の園児達にもコンサートをする場を提供することで、その後の来館機会も増えることもあると思います。

遠藤周作文学館での企画展について、まだあまり知られていないことが分かりました。
また、堅苦しくない雰囲気での催しや、遠藤周作氏のゆかりのある企画を希望する声が多くあがりました。